
ポスター No.48

てんさぼ始めました! ～天理市 支え合いの輪プロジェクト～

天理市 社会福祉法人大和清寿会

【説明】

天理市では住み慣れた地域で生きがいを持って生活できるような地域づくりを行い、また地域で高齢者を支え、住民同士の支え合いの輪を広める活動と位置づけ、生活支援体制整備事業＝支え合いの輪プロジェクトと称して事業を進めています。

令和2年7月より、社会福祉法人大和清寿会で療法士を一名SCとして配置し、主な活動として住民主体の通いの場支援と生活支援体制づくりとしている。通いの場支援では、住民の方への体操の指導だけではなく、フレイル相当の早期発見や生活状況の聞き取りを行い、支援が必要な場合は関係機関へつなぐ役割を担っている。また、生活支援体制づくりでは、自立支援の考えのもと、利用者の自助・互助のアセスメントから生活課題の明確化し、天理市生活支援サポーター（てんさぼ）へ支援の依頼を具体的に行い、利用者としてんさぼのマッチングを担っている。

また、生活支援の依頼調整については「みまもりあいアプリ」のグループ情報配信機能を活用し、連絡調整を効率化させている。支援依頼のアセスメント終了後、①アプリ登録団体へ支援の依頼の送信、②スマホ端末にて支援の可否を返答、③管理者（SC）にて回答内容の確認・支援日時の確定、④アプリ内のチャット機能にて支援予定者に詳細情報を送信、⑤支援実施、となっている。

令和3年8月よりてんさぼの利用を有償化へ移行し、ポイント券（1ポイント：250円相当、30分の支援）を支援時間と人数によって換算し、利用者より謝礼の代わりに受け取る形式とする。今後は、てんさぼの登録団体を拡充するとともに、令和4年度に第二層SCを2名配置し、生活支援の体制をより身近な地域に展開予定としている。



「いきがい・助け合いサミット in 神奈川」2021年 出展ポスター